

2017 年 10 月 2 日

2018年オリンパス／WWFカレンダー
「Pantanal／生命みなぎる大湿原 - パンタナール」
販売利益で WWF の地球環境保全活動に貢献

オリンパス株式会社（社長：笹 宏行）は、世界的な動物写真家の岩合光昭氏が撮り下ろした写真による、2018 年オリンパス／WWF カレンダー「Pantanal／生命みなぎる大湿原 - パンタナール」を製作しました。

世界自然遺産にも登録されたパンタナールは、南アメリカ大陸のほぼ中央部に位置し、ブラジル、パラグアイ、ボリビアの3カ国にまたがる世界最大級の大湿原です。この多種多様な生き物が棲息する世界でも稀有な地域を、岩合光昭氏がミラーレス一眼カメラ「OLYMPUS OM-D E-M1 Mark II」をはじめとした機種を使用して撮影しました。

本カレンダーシリーズは、1986 年からオリンパスが毎年製作して WWF ジャパン（公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン）へ寄贈しており、2018 年度版で 33 年目を迎えます。WWF ジャパンで販売された本カレンダーの全ての利益は、WWF の地球環境保全活動に役立てられます。



©Mitsuaki Iwago

[参考資料]

●岩合光昭氏による撮り下ろし

いつか必ずパンタナールに訪れたいと切望していた動物写真家の岩合光昭氏が、3回にわたる撮影取材を敢行し、本カレンダーのために撮り下ろした作品です。長年にわたり数多くの動物を撮影している岩合氏ならではの美しい瞬間が捉えられています。

●WWFの地球環境保全に貢献

1986年から毎年WWFジャパンに寄贈されているカレンダーは、10月下旬からWWFの通販パンダショップ(<https://shop.wwf.or.jp/>)で1部1,400円(税別)で販売されます。その全ての利益はWWFの地球環境保全活動に役立てられます。

[WWF:World Wide Fund for Nature 世界自然保護基金]

世界約100カ国以上で活動する地球環境保全団体です。絶滅の恐れのある野生生物の保護を目的として、1961年にスイスで設立されました。現在は、森や海などの生物多様性を保全すること、木材や魚介類など自然資源の利用を持続可能なものにすること、地球温暖化を防ぐことなどに力を注ぎ、人と自然が共存できる社会の実現を目指しています。

●地球に優しいカレンダー

PVC(ポリ塩化ビニル)やらせん金属の留め具を使用しない設計を採用しているほか、すべてのページにFSC(森林管理協議会)の認証紙を使用するなど、地球環境保全に配慮して製作されています。また月ごとに切り捨てる必要のないブックタイプのため、使用後は写真集としてもご利用いただけます。

●人にも優しいカレンダー



色覚の個人差を問わずに多くの方がご覧になりやすいように、カラーユニバーサルデザイン(CUD)に配慮して製作しています。カラーユニバーサル認証はCUDO(NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構)により、カラーユニバーサルデザインが実現できたと確認された場合に発行される第三者認証です。

●岩合光昭(いわごうみつあき)氏 略歴

1950年東京生まれ。19歳のときに訪れたガラパゴス諸島の自然の脅威に圧倒され、動物写真家としての道を歩み始める。以来、地球上のあらゆる地域をフィールドに撮影を続け、アフリカ・セレンゲティ国立公園に1年半に渡り滞在して撮影をした写真集「おきて」は、世界中でベストセラーとなる。また、独特の色やコントラストを持ち、想像力をかきたてる作品は「ナショナルジオグラフィック」誌の表紙を2度飾るなど、全世界で高く評価されている。近年はライフワークともいえるネコの撮影にも力を入れており、NHK BSで「岩合光昭の世界ネコ歩き」が好評放映中のほか、同名写真展が日本各地を巡回中である。最新情報はオフィシャルサイト「デジタル岩合(www.digitaliwago.com)」で公開。また、過去のオリンパス/WWFカレンダーも「デジタル岩合」の出版物一覧内(<https://www.digitaliwago.com/archives/calendar/>)に掲載。

本リリースに掲載されている社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。